

豊中市市民ホール等指定管理者選定評価委員会

中間評価結果報告書

1 対象施設

公の施設の名称

- ① 豊中市立文化芸術センター（豊中市曾根東町3-7-2）
- ② 豊中市立ローズ文化ホール（豊中市野田町4-1）
- ③ 豊中市立文化芸術センター等駐車場
- ④ 豊中市立伝統芸能館（豊中市岡町北 1-4-1）
- ⑤ 豊中市立市民ギャラリー（豊中市本町 1-1-5 阪急豊中駅南側高架下 1 階）

所管部局

豊中市魅力文化創造課

2 指定管理者

指定管理者の名称

JCD・日本管財・大阪共立グループ

指定期間

令和3年（2021年）4月1日から令和8年（2026年）3月31日まで

公募・非公募の区分

公募

3 選定評価委員会の構成

委員氏名	役職等	備考
江口 太郎	大阪大学総合学術博物館招へい教授	会長
藤野 一夫	兵庫県公立大学法人 芸術文化観光専門職大学 副学長	職務代理者
井上 建夫	公益財団法人 守山市文化体育振興事業団副理事長	
春名 真由美	特定社会保険労務士	
水守 哲也	税理士	
榎原 理絵	市民公募	
山崎 卿子	市民公募	

4 評価の方法及び経過

(1) 方法

- ① 書類審査
- ② ヒアリング

(2) 経過

	開催日	案件
第1回	7月21日(金)	会長の選出及び会長職務代理者の指名について/会議の公開について/諮問について/選定及び評価の経過報告について/評価基準及び評価の方法について/今後の予定について
第2回	8月25日(金)	書類審査について/ヒアリング審査の手法等について
第3回	10月27日(金)	ヒアリング審査について/評価結果報告書(案)について/今後のスケジュールについて
第4回	11月27日(月)	評価結果報告書の確定について/答申について

5 評価の対象期間

令和3年(2021年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日までの2か年

6 評価の参考とした資料

- 自己評価表及び根拠資料
- 団体の基本財産、業務内容詳細、活動実績(助成金事業実績、研修計画達成度、自由提案事業計画達成度等)がわかる書類(パンフレット等可)
- 協定書、仕様書
- SLA(サービスレベルアグリーメント:サービス水準に関する合意)
- 事業報告書
- 月次報告書(議事録含む)
- 利用者アンケート結果
- 貸借対照表<直近の3事業年度分>
- 損益計算書または収支計算書<直近の3事業年度分>
- キャッシュフロー計算書またはこれに類するもの<直近の3事業年度分>
- 勘定科目内訳明細書<直近の3事業年度分>
- 法人税確定申告時提出書類(別表一~十六)<直近の3事業年度分>
- 法人税・消費税・地方消費税の納税を証明する書類<過去3か年分>
- 都道府県税・市町村税に未納がないことを証明する書類<過去3か年分>

- 労働保険 保険関係成立届(写)
- 労働保険 概算・増加概算・確定保険料・一般拠出金申告書(写)(直近のもの)
- 上記申告に伴う保険料の納付書・領収証書(写)(直近の第1・2・3期のもの)
- 就業規則(パート労働者含め10名以上の事業所は監督署の受付印のあるもの。賃金規程等の付属規程を含む。)(写)
- 就業規則に準ずるもの(パート労働者含め10名未満の事業所の場合。賃金規程等の付属規程を含む。)(写)
- 時間外労働、休日労働に関する協定届(写)
- 定期健康診断結果報告書(写)(労働者50名以上の事業所の場合)
- 社会保険適用通知書(写)及び直近の被保険者報酬月額算定基礎届(写)
- 社会保険料の納入告知書・納付書・領収証書(写)または保険料納入告知額・領収済額通知書(写)(直近のもの)
- 労働条件の書面交付を証明するもの(雇入(労働条件)通知書または労働(雇用)契約書等の書式)
- 労災加入関係書類、継続事業一括認可(追加)申請書、継続一括事業リスト当該部分のいずれか1点

7 評価結果

	評価項目	評価基準	評価理由	評価
1	基本姿勢	管理運営の基本的な考え方が、法令等をふまえ、公共の利益の増進に合致したものであるか	両年度とも施設の性格や設置目的に基づいて事業が企画・実施され、公平・公正な管理運営が継続して行われた。	B
		施設の性格、設置目的及び市の施策等を的確に把握し考慮した管理運営であったか。また、市と積極的に連携・協力し、市政運営の一翼を担っていたか	市と指定管理者で毎月定例会議を行い管理運営等について意見交換し、市からの指摘や意見を現場従業員に伝達及び周知する体制を整えていることは評価できる。	
2	事業計画	「人材育成・ボランティア組織コーディネート事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか	レジデントアーティスト育成プログラム(1期生3名、2期生2名、3期生2名)については、体系的なプログラムが試みられており評価できる。演奏動画の公開もされており、アーティストのPRにもつながると考えられる。とよなかARTSワゴンの取り組みは、全国的に見ても高く評価できる。アウトリーチ事業「ふれアート」については、多数の小学校が参加したことが評価できる。両年度ともに一般財団法人地域創造助成金を活用しており、外部からの評価も何え、他市比較しても非常に優れている。 今後も育成プログラムを継続するうえで、必要に応じて見直しや付加も行いながら充実を図っていただきたい。	B
		「鑑賞事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか	これまで定例で行ってきた日本センチュリー交響楽団の「センチュリー豊中名曲シリーズ」において、出演者やプログラムに独自性があり、豊中でプロデュースしたシリーズとして個性を打ち出しており評価できる。イメージチェンジによるブランディングが成功したと考える。 令和3年度には、文化庁のオーケストラキャラバンを活用して東京の2つのオーケストラの公演が行われたこと、令和4年度には年間平均来場者数1,000名超を達成したことも評価できる。 室内楽・器楽・声楽についても日本センチュリー交響楽団との連携に工夫が見られる。更に個性的で存在感のあるプロデュースを期待する。 普及育成事業についても工夫が見られ評価できる。大阪音楽大学との協働や人材育成事業との連携を引き続き行うことで、市民の自発性を促しながら、市民が楽しむこともできる事業展開を期待する。	

	評価項目	評価基準	評価理由	評価
		「貸館事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館期間があったものの、施設稼働率において令和4年度はすべての施設でおおむね過去最高水準に回復した。	
		「情報提供事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか	館内チラシラックを用いての情報提供等のほか、ホームページやSNSでの情報発信を行っている。また館内案内のバーチャルツアー（360度3D映像）も実装している。	
		「相談事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか	施設利用のための相談会を定期的に行われていることは評価できる。	
		「友の会事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか	市民ホール等の情報誌「アペリティフ」の隔月配布は評価できる。オンライン会員登録者が4800人であり、訴求方法としてメール配信は一定の効果はあると考える。 しかし、友の会会員数が少ないことは否めず、会員数を増やすには長期的で粘り強い取り組みが必要であるといえ、パッケージ型の会員制度の導入やホームページの閲覧しやすさの向上、会員となった際の利点などの見直しを要する。さらに創意工夫をして、基準値に達するように努力を求める。	
		「広報・宣伝事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか	公演レポートのウェブでの掲載は評価できる。ホームページ上でアクセスしやすくするとともに、例えば複数の短いレポートの掲載など、様々な工夫を期待する。	
		「コミュニケーションロビーの運営」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか	令和3年度から新しい事業者による運営となり、観葉植物を多く配置するなど明るい雰囲気の利用しやすい空間となった。 令和4年度から当該ロビーを活用した演奏会などの企画が始まっており、今後の事業展開に期待ができる。	
3	確保すべきサービス水準	文化芸術センター大ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率=一年度分の利用日数/一年度間の利用可能日数×100)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">最高評価サービス水準値：85%</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">確保すべきサービス水準値：70%</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実績値：R3 71.2% R4 79.4%</div> <p>両年度ともに確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。</p>	B

評価項目	評価基準	評価理由	評価
	文化芸術センター中ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値：85% 確保すべきサービス水準値：70% 実績値：R3 56.1% R4 83.7% 令和3年度は確保すべきサービス水準値を下回る結果となったが、大規模修繕に伴う長期休館や新型コロナウイルス感染拡大の影響による臨時休館のため、実質の開館期間が約1か月間であったこと、また、その開館期間は臨時休館直前の感染拡大時期と重なっていたことから、やむを得ない結果であり、改善を要するとの判断には至らなかった。 令和4年度は確保すべきサービス水準値に達しており回復が窺える。	
	文化芸術センター小ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値：85% 確保すべきサービス水準値：70% 実績値：R3 92.6% R4 97.7% 両年度ともに最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
	ローズ文化ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値：75% 確保すべきサービス水準値：60% 実績値：R3 76.8% R4 75.5% 両年度ともに最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
	伝統芸能館の年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値：85% 確保すべきサービス水準値：70% 実績値：R3 79.5% R4 78.7% 両年度ともに確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	

評価項目	評価基準	評価理由	評価
	市民ギャラリーの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一 年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値：75% 確保すべきサービス水準値：60% 実績値：R3 67.4% R4 63.5% 両年度ともに確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価す る。	
	文化芸術センター展示室の年間平均利用 率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一 年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値：75% 確保すべきサービス水準値：60% 実績値：R3 64.1% R4 93.7% 令和 3 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響があるなか確保すべきサー ビス水準値を達成することが出来ており、令和 4 年度は最高評価サービス水準値 を達成することが出来た。	
	文化芸術センター多目的室の年間平均利 用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一 年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値：75% 確保すべきサービス水準値：60% 実績値：R3 86.8% R4 91.2% 両年度ともに最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
	文化芸術センター、ローズ文化ホールの日 間来場者数合計 (人)	最高評価サービス水準値：500,000 人 確保すべきサービス水準値：410,000 人 実績値：R3 240,229 人 R4 427,778 人 令和 3 年度は確保すべきサービス水準値を下回る結果となったが、新型コロ ナウイルス感染拡大の影響による臨時休館や文化芸術センター中ホールの大規模 修繕に伴う長期休館があったため、指定管理者自体の運営状況について改善を要す るとの判断には至らなかった。 令和 4 年度は確保すべきサービス水準値に達しており今後の伸びに期待する。	

評価項目	評価基準	評価理由	評価	
	4 ホール（文化芸術センター大ホール、中ホール、小ホール、ローズ文化ホール）で実施する事業の1事業あたりの平均参加率（参加率＝1事業の来場者数（チケット販売数）/ホールの客席×100）	<p>最高評価サービス水準値：75%</p> <p>確保すべきサービス水準値：50%</p> <p>実績値：R3 66.5% R4 62.0%</p> <p>両年度ともに確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。今後の伸びに期待する。</p>		
	友の会の会員数	<p>最高評価サービス水準値：1,500人</p> <p>確保すべきサービス水準値：1,000人</p> <p>実績値：R3 729人 R4 798人</p> <p>令和3年度も令和4年度も確保すべきサービス水準値を下回る結果となった。会員数は回復傾向にあるが、パッケージ型の会員制度の導入やホームページの閲覧しやすさの向上、会員となった際の利点などの見直しを要する。</p>		
4	施設効用の発揮	<p>当該施設の管理運営を担うのに相応しい人員を配置し、職員の質の向上を図る方針や計画を遂行しているか</p> <p>安心安全な維持管理、公平公正な使用承認の判断といった施設運営等、管理運営が適切に行えているか</p>	<p>市と連携した事業展開を行うなど、市政運営の一翼を担っている。</p> <p>職員は外部研修などに参加し豊中市及び豊中市民への理解を深めており、以前よりもより解像度の高い事業が企画されるようになってきている。</p> <p>施設の維持管理・運営については、法令等に基づき適切に行われ、南部地域活性化の拠点としてのローズ文化ホールの活用も積極的に行われている。</p>	B
5	財務健全性	<p>貸借対照表は健全か</p> <p>損益計算書は健全か</p> <p>資金保有（期末残高）は健全か</p>	<p>指定管理事業以外の事業において受注損失引当金（受注したが損失となる可能性のある事業が一部ある）が計上されているが、現時点での指定管理事業としての健全性は保たれていることから、概ね適切と判断する。</p> <p>引当金が計上されているが、当期利益は残っていることから、収益力は残っており、概ね適切と判断する。</p> <p>引当金が発生している影響で、資金を相殺する恐れがあるが、現時点では健全であると判断する。</p>	B

	評価項目	評価基準	評価理由	評価
		(当該事業の) 収支状況・収支計画は適切か	引当金の計上はあるが、概ね適切と考える。	
6	市民満足度への配慮	利用者への接客対応は適切か。また、サービスの向上が図られているか	利用者アンケートで、施設利用満足度における職員の対応の項目において「満足」と「やや満足」を合わせると、 文化芸術センターは令和3年度92.6%、令和4年度92.5% ローズ文化ホールは令和3年度82.7%、令和4年度87.0% 伝統芸能館は令和3年度84.6%、令和4年度84.0% 市民ギャラリーは令和3年度100%、令和4年度88.6% となっており、各施設ともに概ね高評価となっている。	B
		地域の市民や団体、近隣公共施設等と連携（協働）し、施設の効用を發揮させているか	地域のまつり等の行事や運営団体への協力を行っている。また文化芸術センター中ホールと建物を一体とする中央公民館とともに市民の貸館ニーズに対応している。今後、伝統芸能館、市民ギャラリーを含めた文化施設4館の連携による取組みを期待する。	
7	従業者への配慮	福利厚生や労働安全衛生に係る制度が充実しているか	法令に基づく従業員に対する健康診断の実施、法定外労災補償制度の整備など、労働者の労働安全衛生に配慮しており、また入社時研修、個人情報保護に関する研修（年1回）や専門的研修など社員研修制度も充実している。	B
		勤務時間、休暇制度等が法令に適合するとともに、職員の健康や仕事と生活の調和に配慮したものになっているか	就業規則から、勤務時間、休暇制度等法令に適合した定めとなっている。また、法令以上の特別休暇も定められている。ハラスメントに関する規定も整備されている。	
		その他、労働関係法令を遵守しているか	法令違反は見受けられない。	
8	危機管理体制	情報管理・個人情報の保護の重要性について理解し、個人情報の漏えい、不正利用を防止する体制が整っているか	個人情報保護に係る事故等はなかった。受付の電子化を進めているが、現時点において不具合事案は発生していない。	B

	評価項目	評価基準	評価理由	評価
		緊急事態発生等への危機管理に対する体制が堅固であるか。また、防災訓練の実施内容がさまざまな事象を想定した実践的なものであったか	防災訓練は定期的実施している。 令和3年度においては新型コロナウイルス感染対策を徹底し感染拡大や大きな事故なく運営していた。令和4年度においても新型コロナウイルス感染対策の変化に対応しつつ感染拡大や大きな事故なく運営していた。	
9	その他	「自由提案」とした事業を事業計画書に則し、積極的に実施したか、また事業内容が施設の設置目的を踏まえた創意工夫が見られたか	実習生（インターン）に対するプログラム内容が充実しており、豊かな学びにつながっていると評価できる。	B
総合評価		(B)		

8 改善すべき点

- ・「友の会事業」について、会員数目標未達成が続いている。特典の内容などの会員としてのメリットをわかりやすく明示すること。年間プログラムのうち様々な自主事業を中心に組み合わせたパッケージ型会員制度の導入といった新たな会員制度の検討も含め、会員数増加を図ること。

9 総括評価

- ・人材育成事業の実施において両年度ともに一般財団法人地域創造助成金を活用しつつ、新たな事業展開に注力している点、鑑賞事業においても「豊中ならでは」に着目した独自性のある事業を展開している点を評価する。また、これらの事業を継続、発展させるための人材の育成、確保を期待する。一方で、友の会事業については2年連続で確保すべきサービス水準を下回っているため、今後の見直しに期待する。
- ・助成金の活用において、鑑賞事業に関しても採択されるよう、さらなる工夫を期待する。
- ・市民ホール等の利用について、概ね適切に運営されており、各ホール等の年間平均利用率において高い水準を保っている。